

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ガリレオジュニア				公表日	令和7年2月14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		十分なスペースを確保しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童指導員、保育士、機能訓練職員(理学療法士)等、多職種を適切に配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動スペースはバリアフリーで安全な環境を提供しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		温度管理を行うとともに、換気や消毒等も徹底して行っております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室を確保しています。必要性に応じて使用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		PDCAサイクルを利用し、支援内容の設定や見直しを職員一同で随行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からの意見や要望を大切に、必要時はミーティング時に話し合い、改善へと繋がっています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員からの意見や要望を大切に、必要時はミーティング時に話し合い、業務改善へと繋がっています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は受けていません。今後検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修会に参加する機会を設けています。全職員が積極的に研修会に参加しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		連絡帳やLINE等を活用し、活動内容を利用児・保護者と共有しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		児童発達支援管理責任者が定期的にモニタリングを行い、支援内容の見直しの必要性を常時検討しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者だけでなく、多職種からの意見も大切に、放課後等デイサービス計画を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		子どもの特性を職員間で共通理解し、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フォーマルアセスメントとインフォーマルアセスメントを組み合わせ、特徴の理解に努めています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援ガイドラインに基づき、適切な支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		多職種でそれぞれの立場から意見を出し合い、活動プログラムを策定しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		偏ったプログラムにならないように事業所内での活動だけではなく、屋外での活動も適度に配分し、支援を行っています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの特性を理解し、その特性に合わせて個別活動や集団活動での活動を選択し、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前は職員間でご利用される子ども達の支援内容を確認し、職員の役割まで決定して支援に入る準備をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		活動終了後、その日の支援内容や反省点を話し合い、次回の支援目標を掲げています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		活動終了後に、支援中の問題点や気付いたこと等を整理し、必ず日誌に記録を残しています。	
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にもモニタリングを行い、ニーズに沿った計画を児童発達支援管理責任者が立案しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		ガイドラインに沿って支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○		子ども達の、「やりたい・やってみよう」を大切にし、子どもが向いている方向を認識しながら支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が必ず参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		児童発達支援管理責任者が中心となって、児童クラブや学校等と必要に応じて情報共有を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校の週報を受け取り、内容を確認したり、送迎時やLINE、電話等で常に情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		児童発達支援管理責任者が中心となって、事業所や幼稚園等と必要に応じて情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			対象児童がまだおりません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			今後、専門機関との連携や助言を積極的に行っていく予定です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		公共の施設を利用する際にコミュニケーションを取るようになっています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			今後、積極的に参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		面談だけでなく、連絡帳やLINE、電話等を活用し、事業所での様子や活動内容等を共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		管理者が中心となって、家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っています。	
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にわかりやすい説明をするよう心掛けています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談時に確認する機会を設けています。また相談があった際は迅速かつ適切に対応するよう努めています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		面談時に支援内容の説明を行い、保護者からの同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご相談があった場合は、その都度、お話を伺う時間を設けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			今後、多数のご要望がありましたら、開催へと繋げていきたいと思っております。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		管理者が窓口となり対応しています。その内容について、職員全体で情報共有し、対応策を検討し、検討内容をご家族に対しても情報発信しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		主にLINEを用いて、活動内容の情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いには全職員に徹底し、十分に配慮しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		連絡ツールを用いて、日々の活動の様子を具体的に伝えていきます。またスケジュールボード等を活用した視覚支援も行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			開催には至っておりません。今後、検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			全職員がマニュアルの理解をし、何か起こった時の対応を周知しています。今後、保護者へのマニュアルの情報開示を工夫していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		災害発生時の避難場所への移動など、子ども達と一緒に移動し、経路等の確認を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時に保護者から情報収集するよう心掛けています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーの有無の確認を契約時に行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		併設クリニックと同様の対応を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			今後、保護者への情報開示を工夫していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例があった際は速やかに報告を行い、職員全員で情報共有し、再発予防を図っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止の研修を全ての職員が受けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		全職員が身体拘束について理解しています。やむを得ず身体拘束が必要な場合は保護者に説明し、サービス計画に記載するようにしています。		